

# 公民館だより

平第 69 号

平成 30 年 7 月

上宮津  
地区公民館

## 今一度災害に備えを

上宮津地区公民館 館長 智原 芳明

平成十六年十月の台風二十三号から十四年目となる七夕の季節に西日本は豪雨に見舞われ、宮津市には大雨特別警報が発令され、上宮津においても河川の氾濫や大規模な土砂災害が発生しました。二十三号台風の被害を受けて河川改修や砂防堰堤の建設など補強対策をして災害に備えてきたはずですが、またしても被害が起きてしまいました。

今回の雨は長く降り続き、雨水が地下深くまで浸透したため、多くの造成地や急傾斜地で土砂災害が発生しました。

当地では幸いにも人災が無くて良かったのですが、住居や田畑への土石流や浸水被害、道路や護岸の崩落被害を受けられた方々に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧と平常の生活に復帰されます事を願うものです。

旧上宮津小学校の避難所へは、隣近所や地域ぐるみの声掛けで三十二人の避難者がありました。乳幼児や子どもから老人まで長時間の避難所滞在を余儀なくされましたが、早めの避難行動をしていたいたことで、人的災害が未然

に防止できたと思えます。

振り返りますと、台風二十三号から十年を機に『災害に備える安全なまちづくり上宮津地区のために』と平成二十六年度に上宮津自治連合会と京都府立大学の支援を受けて『マイ防災マップと地域おこし』事業を取り組んだ事があります。上宮津の全地区でワークショップを開催し、住民目線で身近にある危険個所の情報や、いざという時の避難先などを書き込んだ『マイ防災マップ』を皆様とともに作り上げてきた経過があります。激甚災害の適用を受けて河川改修が行われ、これで百年に一度の大雨でも大丈夫であるといわれていた大手川でしたが、今回の大雨では冠水は免れたものの護岸の崩落が随所で起きました。

災害に『絶対』は通用しないことであり、いざという非常時には自分の身は自分で守る『自助』と、住民相互の『協助』

の重要性を改めて示しました。今回の大雨で公民館前の小川が氾濫して、駐車場に土砂が流れ込み、もう少して床下浸水になるところでしたが幸いにして大事には至りませんでした。

原因は小香河の山手の土手が崩落したために、流出した土砂が小川を塞いだ結果、水が道路にあふれ出たものでした。ワークショップの時に「圃場整備をする前にはこの辺りに谷水が出とつた」「湧き水があった」など長老の方が言われていた所で被害が起きています。過去のデータを含め、雨の降り方には十分気を付けて対策を立てていただきたいと思います。

誰しも平穏な時には危機意識が薄れてしまうものですが、今回のような大雨特別警報の災害を契機に今一度、宮津市から配布されているハザードマップに目を通すなどして安全意識を喚起しましょう。

知恵を出し合い新たな  
力強い上宮津をつくろう

上宮津自治連合会長

八尋慈教

早いもので大役を仰せつ  
かり一年を経過しました。

区民の皆様には自治会、  
地域会議の事業に対して多  
大のご協力とご支援を頂い  
ております事を厚くお礼申  
し上げます。

理解と行動力のある自治  
会長様、区長様の人材にも  
恵まれて、何とか一年は勤  
め上げられたと思っております。

この地域は各種の団体様  
の活動が活発で、休む間も  
なく次の行事が続きます。

忙しく動いても利益に繋  
がらず何になるとのご指摘  
もありましようが、村の中  
で人の動きが見える。そし  
て何かの結果に繋がる。こ  
れが地域の原動力だと思  
います。

地域会議では昨年、一昨  
年と頂いてきました総務省  
の補助金も今年は打ち切ら  
れて本年まで行って来た諸  
事業も大変苦しい中、継続  
をして行こうと関係の皆様  
には大変なご苦勞をおかけ  
しています。

補助金の切れ目が縁の切  
れ目で無く、せつかくの事  
業、出来るやり方で繋げた  
い。上宮津地区民の思いで  
す。お互いの知恵を出し合  
い、ボランティア奉仕をし  
ていただき熱い思いで活動  
を続けて頂いています。

私達の様な退職組も多く  
みられます。先人のご苦勞  
に報いるべき、比較的元氣  
で安定した私達が今この時  
を支える大切な時期ととら  
え皆様のさらなるお力添え  
を期待しています。

素晴らしい人材の上宮津、  
新たな力強い上宮津、区民  
皆様と創って行きたいと思  
います。今後ともさらなる  
ご理解と、ご協力ご指導を  
頂きます様お願い申し上げ  
ますと共にお身体ご自愛く  
ださい。

本年度の公民館事業

◆地区全体

- 上宮津地区駅伝 6月10日
- 盆踊り大会 8月14日
- 敬老会 9月16日
- 運動会 10月7日
- 予備日 10月14日
- 農業文化祭 10月10、11日

◆青少年体験活動

- 夏休み宿題広場 8月5日
- メカムシ作り
- 新春お楽しみ会 1月

◆公演・講習会

- 健康広場 毎月第1金曜日
- 一般教養講座 7月19日
- しめ縄講習会 12月上旬
- 囲碁大会 2月
- 男の料理教室 3月

◆環境整備

- 大掃除 7月29日
- 校地清掃 6/3・9/30

## 公民館の改修工事が終わりました 平成29年度事業

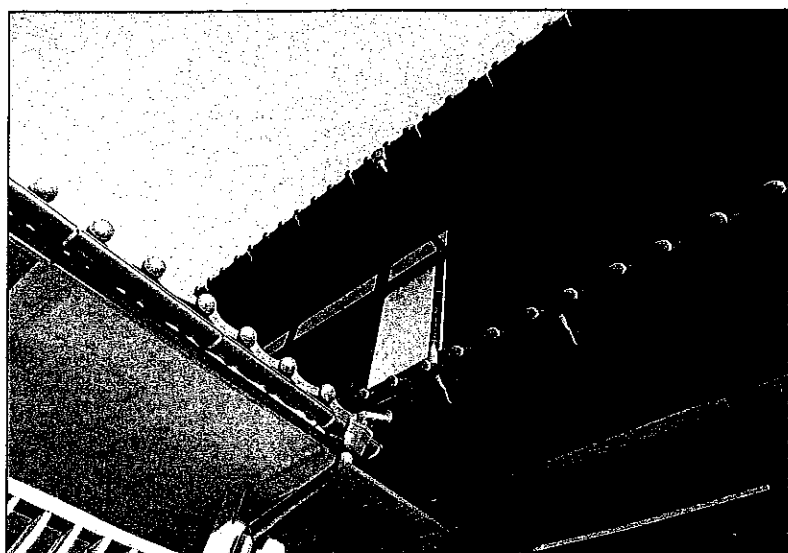


現在の上宮津地区公民館は  
昭和33年に加悦町から移築されたもので  
それからでも…60年が経過しています。

その間に…

様々な所で傷みがひどくなっていました。…

ようやく 修理できました



樋が新しくなり雨漏りの心配がなくなりました



葺き替えられた事務所の屋根



腐蝕して危険な非常階段でしたが、安全になりました



## 「住んで楽しい上宮津」

秋鹿 陽一

はじめまして！ …でない方もいらつしやるでしょうが、改めてご挨拶します。

昨年十一月に大阪から引越してきました秋鹿(あいか)と申します。  
私・妻・娘の三人家族で、今福地区に住まわせてもらっています。

仕事は夫婦共、地域おこし協力隊として活動しています。  
私はオリーブ栽培、妻は提案型として町おこしに携わっています。

妻の父方郷里が宮津で、家族で訪れるたびに宮津の自然の豊かさや人の温かさに惹かれて、いつかはこんな海や山や川のような豊かな自然環境がある宮津に住みたいと願っています。



そう思っていた矢先に、宮津市のホームページで地域おこし協力隊の存在を知り、宮津に来ることができました。

そしてこちらに来る前にいちばん悩んだのが「家」です。  
私たちは陶芸をやっているので自然が近くて広い場所を条件に探していました。

空き家バンクや不動産物件で見た家は物件数も少なく、かなり傷んでいたり、陶芸するには少し狭かったりとなかなか自分たちが思っているような家は見つかりませんでした。  
市役所の方から宮津は空き家が増えていて問題になっていると聞いていたので、実際に探してみると物件として貸し出しているお家というのはあまりないということを知

りました。

そんな時、今福地区の方が今の家を市役所に連絡してくれて、今の家を紹介していただきました。市役所の方と共に、自治会長さん、区長さんなどにお会いし、この地域の行事や自治会などの説明などをお聞きしたり、話をしたりして、上宮津地域の方の和気あいあいとした雰囲気に魅力を感じ、ここに住んでみたいと思いました。

その節は本当にありがとうございました。

またこの半年間実際に住んでみて一番感じたことは、上宮津地域の方々がとても元気だということです。色んな人がご自身の得意なことを活かして、お互い助け合いながら地域に誇りをもって暮らしておられるのだと感じました。

上宮津21夢会議や地域会議のようなグループがあつて、

上宮津地域会議ではホンモロコ・わさび・竹チッパー、廃校利活用、定住促進といった取り組みをしておられ、正直私たちが来る前にすでに住民の方が町おこしをしている事に驚きを感じました。

そんな地域に協力隊として入って何ができるのか考えて思うことは、こうして長年地域の方が頑張っておられた活動や、生活の中に埋まっている技術や知恵を継承して、途切れさすことなく継続していくことではないかと思っております。そして、外から入ってきた立場を活かしながら、次の世代や外の人たちに対して上宮津地域の魅力を伝えていけるような取り組みをしていけたらと考えています。

上宮津は人と人同士の繋がりが深く、町全体が家族のような雰囲気、地域の方に「ここに来てくれたこと、嬉しく思っていますよ」など温かい声

を掛けてもらえた時、このような温かい心のある地域に住むことができて良かったなあと思つて思いました。

温かく迎えて下さった地域の方に、来てもらえてよかつたと思つてもらえるように頑張つていきたいと思つていますので、これからも家族共々よろしくお願ひ致します。

## なぞの大石

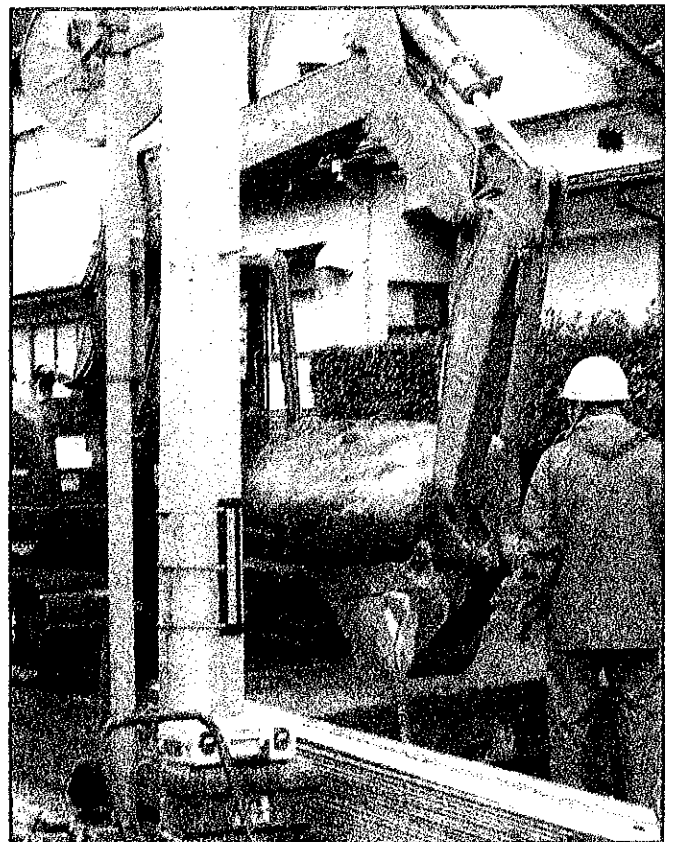
宮津市公共下水道の下水管の埋設作業で、道路を掘削作業中に大きな石が出てきました。

工事関係者の方は、「人が築いたものだ」と地中深くから掘り出された大石に関心が集まっています。



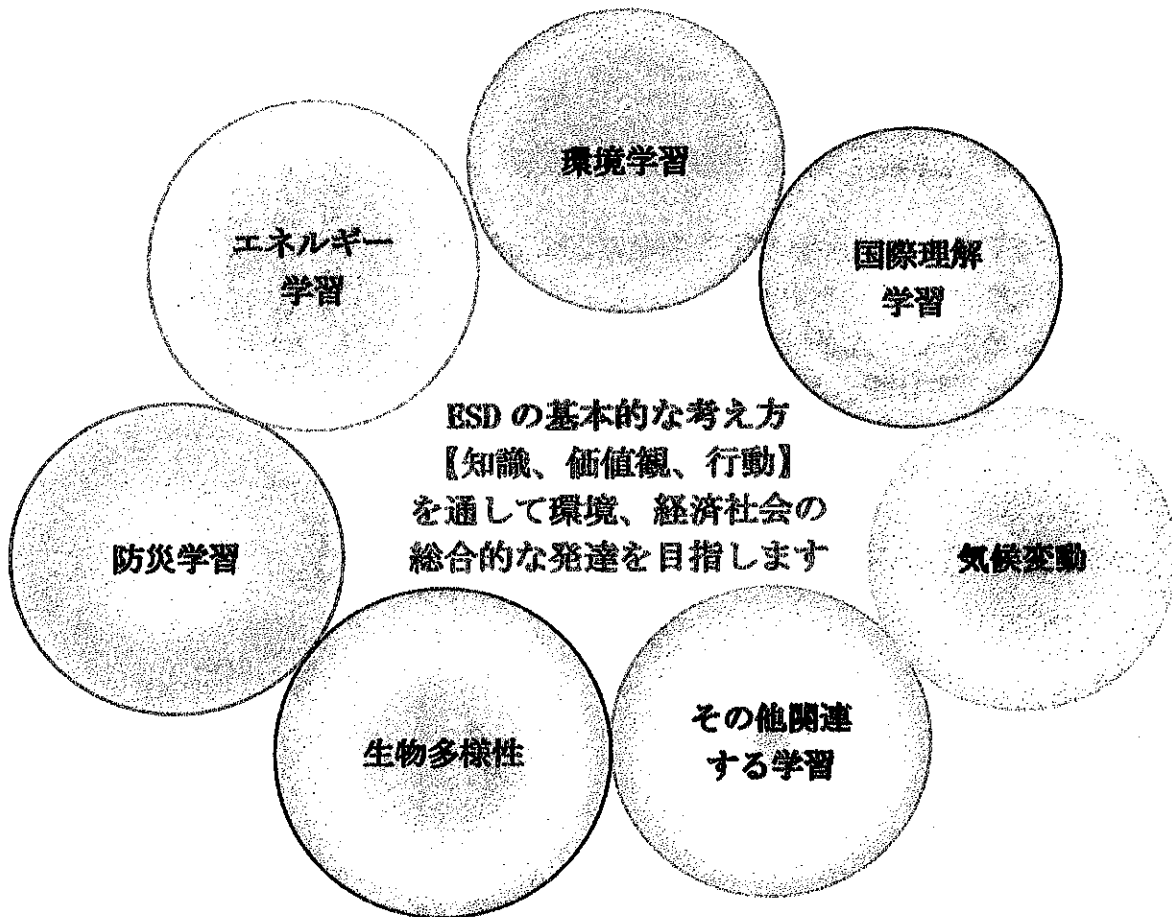
平成 30 年 1 月旧 JA 事務所前の工事中に出土しました。重機の荷重制限に迫る大きな石組は底から階段状に地上に広がっていました。

周囲の地質は砂礫層であることから何らかの目的で築かれたものであり、戦国時代の上宮津城を巡らした堀の遺構ではないかと思いを馳せられました。



## 持続可能な開発のための教育(ESD)と公民館

ESDとは耳慣れない言葉ですが、  
私たちがこれからの時代を持続可能な社会とするために、  
公民館をはじめとする社会教育施設が地域において取り組む活動のことで、  
地球温暖化防止、食料対策、エネルギーなど現代社会の様々な課題に対し  
身近なところから解決するために、価値観や行動を創造し、  
具体的な活動の展開に方向づけをするものです。



ESDの学習や活動で取り上げるテーマや内容は必ずしも新しいものではありません。現在、上宮津地域の各種団体や公民館が取り組んでいる様々な活動をESDという視点で捉え直してみようとする考え方です。

そうすることで個別分野の取り組みに共通性を持たせることができ、より具体的な持続可能社会への活動の展開に結び付けようとするものです。

～ 地域での学びと活動が、共に作る持続可能な社会 ～

お世話になります

平成30年度、新しく公民館運営審議会委員、  
公民館活動推進委員、青少年体験活動推進委員として  
ご協力頂ききます。どうかよろしくお願ひします。

### 公民館運営審議会委員名簿

八尋 慈教	上宮津自治連合会長 小田自治会会長
粉川 宗久	喜多自治会会長
奥野 利貞	今福自治会会長
井本 令次	上宮津自治連合会副会長 天神自治会会長
福田 憲通	鳥が尾自治会会長
松岡 照幸	松縄手自治会会長
関野 掲司	上宮津財産区管理会会長
岡 伸侍	合同会社大江山スキ一観光代表
杉田喜美代	市社協上宮津支会長
橋本 陽子	上宮津保育所所長
宮本 哲雄	民生児童委員常務
藤田 淳志	上宮津体育協会会長
松岡 照幸	宮津市スポーツ推進委員
粉川正太郎	上宮津 21 夢会議代表
谷口 雅彦	上宮津保育所保護者会会長
柴谷 保生	千歳会会長
福井 愿則	今福福寿会会長
粉川 紀子	上宮津自治連合会事務局
関野 掲司	喜多城倶楽部
智原 芳明	上宮津地区公民館館長
大西真由美	上宮津地区公民館主事

### 公民館活動推進委員

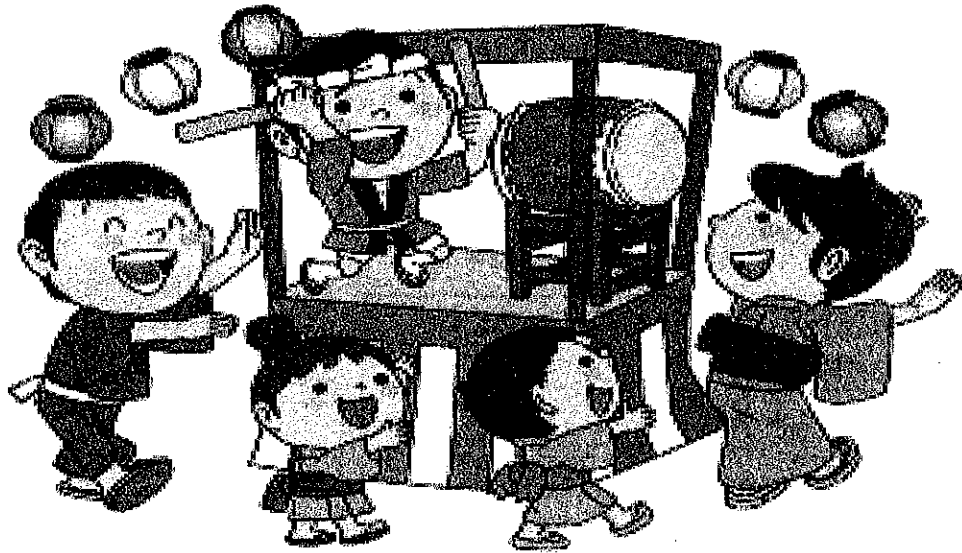
上家 春美	小 田
寺下 博文	喜 多
細見 重彰	喜 多
長林 三代	今 福
奥野 敦	今 福
岡本 剛	天 神
舟橋 照美	鳥が尾
栗原 政光	松縄手

### 青少年体験活動推進委員

田中 了	小 田
細見 秀史	喜 多
井笹 立子	喜 多
福井 俊明	今 福
安達 光幸	天 神
福井 克一	鳥が尾
松岡 照幸	松縄手

(平成30年7月現在)

# 上宮津地区盆踊り大会

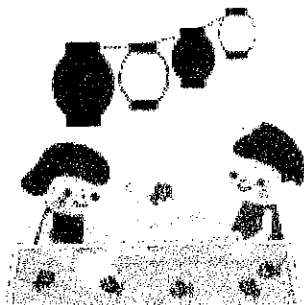


平成30年8月14日(火)午後7時から  
みなさ〜ん、ご近所お誘いの上 ご参加ください

※抽選券の受付は午後8時00分に終了します

**場所** 上宮津保育所園庭  
雨天時 旧上宮津小学校体育館

ゲーム 射的・運だめし・金魚すくい・輪投げ  
当くじ・お楽しみ抽選会  
喫茶 かき氷・フランクフルト・からあげ&ポテト  
焼き鳥・生ビール・ジュース・焼きそば



**主催** 上宮津地区盆踊大会実行委員会